

後藤 章子



ごとう あきこ

庁舎問題

質

複合型庁舎も選択肢のひとつと聞くが、内容は。

答

企画部長

位置も含め、具体内容については、まだ決定していません。

答

市長

消去法で考えればよい。庁舎も公民館も老朽化しており、このままでいいのか悪いとなれば特例債のある26年度までに・・・。順序を追っていけば必ずから結論が出ると思います。

財政計画の信憑性

質

特例債は有利ではあるが借金である。

国の財政赤字は先進国最悪であり、地方交付税・特別会計も多額の借金をしている。年間の交付税財源にも限界がある。特例債の7割を本当に国が補償できるとの認識なのか。

答

市長

後藤議員以上にすべて承知しています。

後期高齢者

医療制度の見直しは

質

大分県の保険料は7万9572円と決定。すべての高齢者から保険料を徴収。年金から天引き。払えなければ保険証を取り上げる。

こんなひどい制度は、国に対して抜本の見直しを求めるときと思うが見解を。

市長

市の判断でできるものではないので、法律に基づき対応していきます。



▲ みんなで体操しています(千歳町老健施設)

神志那宗作



こうじな そうさく

公費妊婦健診を5回に

質

厚生労働省は、公費によ

る妊婦健診は14回程度が望ましく、困難な場合でも5回程度を原則としている。

本市もせめて5回に拡大すべきではないか。

答

市長

県内では7市が、2回から5回に拡大しています。本市も来年4月から5回の公費負担を予算計上する予定です。

耐震改修に助成を

質

耐震診断助成に申し込みがないのは、改修に多額の費用がかかるからだと思う。診断後の改修に助成制度をつくってはどうか。

答

建設部長

県担当者会議では、来年度、補助対象事業費120万円で、県と市が各1/4、申請者が1/2の方向でいきたいとの考え方を示しました。

市もそれに向けて予算化

したいと考えています。

品目横断的経営  
安定対策の見直しを

質

国に対して、適用要件の緩和、事務手続きの簡素化、対策内容の改善を。

答

市長

豊後大野市法人連絡協議会の要請により、農林水産省に行き、事務手続きの簡素化を前向きに検討するとの回答をいただきました。市長会などを通じて制度の改善を求めていきます。

